



知里真志保を語る会主催の講演会

まちを自分たちの手で きれいにしよう

～(社)登別青年会議所主催・心の教育事業～

7月28日(日)、
幌別町2丁目の
しおみ公園で、
登別青年会議所
の主催による清
掃奉仕が行われ
ました。



この清掃奉仕は、登別青年会議所が創立30周年を記念して「21世紀のわたしたちのまちは、わたしたちの手で作らねよう」をスローガンに『心の教育事業』と名づけて行われたもので、この日は、同会議所をはじめ商工会議所青年部、鉄南地区の町内会、付近の住民など約30人が参加。参加者は、ゴミ拾いやトイレの清掃、草刈りなどを行いました。

この事業は、秋にも登別小学校周辺で清掃やペンキ塗りなどの奉仕活動が行われる予定です。

きっと見つかる、できること…

～ボランティア体験月間2002～

登別市社会福祉協議会と登別市ボランティアセンター主催による『ボランティア体験月間2002』が8月1日(木)から31日(土)までの1カ月間行われました。

この体験月間は、市内の福祉施設やボランティアグループなどの協力で「ボランティアに関心はあるけれど、きっかけや時間がない」という方が、00夏休みなどで参加しやすい8月に毎年行われているもので、気軽に参加できる体験プログラムを用意。

今年、福祉施設でのデイケア体験、身体の不自由な方やお年寄りをサポートするボランティア体験など38プログラムに、6歳から86歳まで延べ469人が参加。ボランティアへの理解を深めていました。



よみがえる知里幸恵

ちりゆきえ

～『アイヌ神謡集』の初版が復刻～

登別出身の知里幸恵が、アイヌ民族に伝承されていたカムイユーカラをローマ字で書き表し、日本語訳をつけた『アイヌ神謡集』。「銀のしずく降る降るまわりに」の書き出しで有名なこの『アイヌ神謡集』の初版(大正12年出版)が、知里真志保を語る会により7月に復刻されました。

これは、来年、知里幸恵生誕100年を迎えるのを記念し、同会が今では入手が困難になっている初版を写真製版し、装丁も同じにして復刻したものです。

また、7月19日(金)には鉄南ふれあいセンターで、ユーカラ研究家の北道邦彦さんを講師に招いた同会主催による講演会『アイヌ神謡集の変遷』が開かれ、訪れた約70人の市民は各版の違いなどの解説に耳を傾けていました。

このアイヌ神謡集の復刻本は、市内の書店で1冊2,000円で販売されているほか、市立図書館で借りることができます。

復刻版について
のお問い合わせ…
知里真志保を語る
会(☎851062
ウタリ協会登別支
部内)



アイヌ神謡集初版の復刻本

曲芸にハラハラ!

～サーカス工房大作戦～



7月20日(土)・21日(日)の2日間、登別マリンパークニクス前庭で、『わくわく広場のぼりべつサーカス工房大作戦』が開かれました。

この催しは、一昨年まで10年間続いたイベント『フラワーパレット』の実行委員として活躍した地元登別の有志が中心となり企画・運営したものです。

ゲームや体験コーナー、マジックショーなど、盛りだくさんの催しの中、特に人気を集めたのは、『わくわくサーカス』。国内外で活躍する9人の大道芸人がパントマイムや空中ブランコ曲芸、手品などを次々と披露し、観客からたくさんの拍手が送られていました。